

高坂小学校としまだ小学校の統合について(おたより詳報(令和3年12月))

- ・説明会の会場やアンケートのほか、メールやお手紙など教育委員会に対しこれまでいただいたご意見・ご質問と教育委員会の考え方をまとめたものです。
- ・内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

1 統合の必要性について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申に、人間関係において統合の効果が大きいと書いてあるが、本当なのかと思う。親にとっては、一人ひとりの子どもが大事に育まれていることが重要である。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校、クラス替えができないことのデメリットは、審議会でも、論文やそういう調査もないと委員が答えていた。 ・大人数の方がよい教育を受けられるとする根拠が知りたい。統合することによるメリットが今のところ感じられない。運営面や財政面でのメリットは大きいと思うので、そちらが軸なのであれば、そのように説明してほしい。 ・クラス替えができるメリットについての学識者論文の提出を求める。 	<p>教育委員会の考え方</p> <p>小学校では、子どもたちが集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが大切です。その教育効果を高めるためには、クラス替えができる学校規模が必要です。よりよい教育環境としていくために、教育委員会では、望ましい学校規模とするための取り組みを進めています。</p> <p>取り組みを進めるに当たっては、中立性、客観性が求められますので、学識経験者や学校関係者、地域関係者、市PTA（保護者）により構成された「名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会」（以下「審議会」といいます。）へ諮問し、答申を受けることになっています。審議会の審議の中で、委員が次のように発言しています。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年が上がると人間関係が複雑になり、衝突もある。学級編制ができず人間関係を引きずりつらい思いをしていることが、学級編制ができることで人間関係がリセットされた例を見てきた。 ・試行錯誤しながら友達と協働していく力が必要であり、ある程度の人数がいったり、学級編制ができることが必要。 <p>(以上、令和2年12月14日令和2年度第2回審議会)</p> <p>-----</p> <p>また、文部科学省が、有識者の意見等を踏まえて作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」にも、クラス替えができることのメリットが、次のようにまとめられています。</p>

	<p>・新校舎完成までの間の学校生活を送る子どもたちは負担がとて多くなると思うが、そうまでして統合を押し進める必要があるか。</p> <p>・統合に賛成する。特に3年生以上で、小学校は教育の基礎であり、仲よしクラブだけでは問題がある。競争心・研究・自主的な勉強が必要で、そのためにクラス替えができる児童数が必要と考える。また、少人数の学校から多人数の学校に移った時の格差も考えられる。</p> <p>・子どものクラスで、人間関係が破綻してしまったが、クラス替えをしたいと思ってもできず、卒業まで過ごしたことがあった。子どもや親にとって、クラス替えという逃げ道がとても大切だと思う。</p> <p>・6年間ずっと同じ環境なので、中学校での友達の作り方がわからず孤立してしまったり、コミュニケーションをとったりするのが下手だと感じる。けんかの仕方、仲直りの仕方、協調性など、小学校の6年間で友達から多くのことを学ぶはずが、高坂小学校の子はそれができていないので気の毒だと思う。</p>	<p>「一般に各学年で複数の学級を編制できる場合は、クラス替えが可能になることの影響も含め、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童生徒同士の間関係や児童生徒と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる ② 児童生徒を多様な意見に触れさせることができる ③ 新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる ④ クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる ⑤ 学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる ⑥ 学級の枠を超えた習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導形態をとることができる ⑦ 指導上課題のある児童生徒を各学級に分けることにより、きめ細かな指導が可能となる <p>といった利点があります。」</p>
2	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>・統合を進めるのは、結局はお金の話。税金に限りがある中で、税金の無駄遣いがたくさんあると思うが、通学距離、地盤、危険を冒してまで子どもを通わせることになる。親の立場であれば、意見は変わる。子どもに税金</p>	<p>小規模校には「一人ひとりの児童にきめ細かい指導がしやすい」といった面がある一方で、「人間関係の固定化が生じやすい」、「体育の球技などの集団学習などに制約が生じる」といった課題があります。</p> <p>こうした課題を解決するため、名古屋市では、望ましい学校規模を確保する取り組み(統合)を進めています。</p>

	<p>を使ってはいけないのか。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <p>・今少子化が進んでいるのに、子どもの安全を第一として考えていない。少人数でもよいところはいっぱいある。例えば、運動会を見ても、先生も子どもたちも和気あいあいとして、皆一生懸命に頑張っている。</p>	<p>以下の項目もご参照ください。</p> <p>統合校の場所となるしまだ小の敷地については「3 統合場所について」 統合に伴う通学については「4 通学について」</p>
3	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>しまだ小と高坂小で、遠足や野外活動など一緒に行ったり、交流したりすれば、それでよい。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <p>・たくさんの子どもの中で育つ環境も、もちろん必要だと思う。2校合同の授業を時々取り入れたり、遠足を合同で行ったり、工夫をすれば統合しなくても十分子どもたちの成長を促すことは可能だと思う。</p>	<p>学校での教育活動は、毎日の学校生活の中で子どもが多くの人とふれあい育つことのできる場面や環境をつくることが重要です。子どもたちが多様な発言をし、対話する等の活発な授業を展開したり、体育の球技などの集団学習・グループ学習を人数の制約なく行うようにしたりするためには、一定の学校規模が必要と考えています。</p>
4	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>・クラス替えによって起きる問題もある。いじめを根本的に解決するのではなく、クラスを変えるだけである。</p>	<p>いじめへの対応方法として、クラス替えを唯一のものと考えているものではありませんが、上記 No. 1 のとおりクラス替えができる学校規模にすることのメリットは大きいと考えています。保護者の方から「高学年になると先生の目も行き届きにくくなる。いじめを経験したが、逃げ場がなかった」といった声や「6年間環境が変わらず、中学に入って環境変化についていけず、心が折れてしまった」といった意見をいただいています。</p> <p>統合により、子どもが多くの人とふれあい育つことのできる教育環境にしていきたいと思います。</p>

5	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数学級の小学校の出身者の中にも、社会性が身に付いていない者もいる。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数が増えることで社会性、コミュニケーションの発達を促すとうたっているが、審議会でも委員からそのデータはないと発言があった。中学校で問題行動を起こしている子が複数学級の小学校の出身者ということもある。社会性の発達に関するものは、どこからが個人の資質であり、どこからが単学級（あるいは少人数学級）の問題から生じているのか、その線引きはどこになるのか示してほしい。 	<p>児童生徒の問題行動については、学習や成績についての悩み、友人や担任との人間関係、家庭環境によるものなど、その理由や原因は多岐にわたるものと認識しています。</p> <p>したがって、複数学級であるから、あるいは単学級であるからという理由で一概に問題行動が起こりやすいとはとらえておりません。また、社会性の発達に関する要因が個人の資質によるものか、学校規模によるものかといった詳細なデータはなく、明確に線引きをすることも困難であると考えています。</p> <p>教育委員会では、子どもたちが多くの人とふれあい育つ教育環境の中で、さまざまな考え方や価値観に触れ、切磋琢磨することで、社会性やコミュニケーション能力、向上心等を高めることができるようにしてまいりたいと考えています。</p>
6	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高坂小は他学年との交流もあって、違った意味で体制ができている。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数が少ないからこそそのメリットもたくさんある。他学年の子のことも把握している場合も多々あり、兄弟姉妹のような自然なやりとりに思わず心打たれることもある。 	<p>学校での教育活動は、クラス単位、学年単位、そして異学年交流を含む学校全体でも取り組まれます。しかしながら、集団学習やグループ学習はクラス単位や学年単位で行うことが多いことから、クラス替えがある教育環境とすることで、新たな人間関係を構築したり、多様な意見に触れたりする機会をつくることができるようになります。</p> <p>異学年交流は、しまだ小学校においても行われています。しまだ小学校ではこれまで異学年で一緒に遠足に出かけたり、地域での清掃活動に取り組んだりするなど、子ども同士の交流が実施されてきたと聞いています。</p> <p>統合校では、異学年交流を含め両校で取り組まれている教育活動それぞれの良さを持ち寄り、学校運営をしてまいりたいと考えています。</p>

<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の負担は、大人数の学級より少人数の方が少ないと思う。きめ細かな指導もできる。 ・高坂小がこんなに児童が少ないの知らなかった。東京では1,000人の学校だった。今の高坂小の方がいい。先生の目が行き届く。みんな仲がいい。東京では5クラスもあって、運動会では、低学年の保護者は午前中で帰るよう言われていた。高坂小の運動会は和気あいあいとしている。統合には反対の立場である。 ・私は高坂小で一人卒業させて、一人は在校生である。入学前は、小規模校で心配だった。うちの子は発達障害があるので心配だったが、通常の学級で卒業できた。小規模校はいつでも先生に相談できるのがよいところである。先生の都合さえよければだが、親身になって相談に乗ってくれた。ある時は、「昨日8時まで残って考えた」と言ってくれた。小規模校は手厚い。中小企業でも、同じ人間関係の中でやっていかないといけない。スモールステップでいい。 ・知り合いの学校では、いじめに先生が関わってくれないと聞いている。どういうふうな学校ビジョンをしているのか、理想ができていない。力量のある先生をそろえてくれればいい。 <p>-----</p>	<p>統合すると、学年に複数の学級ができますので、同じ学年の複数の担任が協力しながら子どもたちを見守ることができるようになります。学校全体でも、より多くの教員が子どもたちと接するようになるため、多面的に子どもと関わる機会が増えるようになります。</p> <p>学年に複数の学級がある学校では、同学年でクラスを横断的な学習集団に分けての授業や教育活動が展開できるようになっています。</p> <p>どの小学校にも学校運営のための校務は同じようになり、教職員で事務分担をしています。望ましい学校規模となった場合には、小規模校であった頃と比較すると教職員数が増えますので、学校の仕事全体をより多くの教職員で分担できるようになります。また、学年だよりやテスト作成などを学年の担任間で分担したり、さまざまな教育活動について教員同士でアイデアを出し合ったり、点検し合ったりすることができるようになり、学校運営上大きなメリットです。</p> <p>なお、学校規模が大きすぎる場合にも、子どもの教育環境にさまざまな課題が生じます。このため名古屋市では、31学級以上の学校（過大規模校）の課題解消への取り組みも進めています。</p> <p>1学級の人数について、現在名古屋市では、小学校1,2年生は30人を基本とした学級編成、3年生は35人、4年生以上は40人での学級編成となっています。（令和4年度以降、4年生以上も35人学級が段階的に導入され、令和6年度に6年生まで35人学級になります。）</p> <p>「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（文部科学省）にも、学級数が少なくなるに従い、配置される教職員数が少なくなるため「教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することにより、学校経営が不安定になったりする可能性がある」、「教員同士が切磋琢磨する環境を作りやすく、指導技術の相互伝</p>
--	--

	<p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計をみると、どの都道府県も平均 20 人 1 クラスになっている。20 人×4 クラスもあれば 20 人×1 クラスもあるだろうが、高坂小が小規模なのが特に問題とは思えない。根本には、先生方の負担が大きすぎると思う。 ・統合校の教育体制は十分に確保されるのか。 ・単学級は先生から手厚い対応がされると思われがちだが、担任の先生が様々な業務を一人で行い、余裕のない中で子どもたちに指導をしている。先生にとっても、一人ではなく横のつながりが大切ではないか。 ・高坂小としまだ小を統合すると、一クラス多いと 40 人学級になるかと思うが、とても先生が見切れとは思えない。40 人で先生が見切れていないため学級崩壊しかけており、先生と話す機会もないという学校の話をしている。このような環境が、子どもたちがいきいきと輝く良好な教育環境なのか。 	<p>達がなされにくい(学年会や教科会等が成立しない)」、「学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある」といった課題が挙げられています。</p>
8	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のタイミングでの統合はナンセンス。ソーシャルディスタンスと言われている中で、子どもには 3 密を強いるのか。 ・知り合いの小学校は 40 人のクラスで密となっていて、 	<p>名古屋市では、学校の規模にかかわらず、すべての学校で感染症対策を行っており、感染拡大の防止に努めています。感染症対策を行いつつ、望ましい学校規模の確保に向け統合を進めることについては、審議会でも取り上げられ、審議されました。(令和 2 年 12 月 14 日令和 2 年度第 2 回審議会)</p> <p>コロナ禍でも「感染症対策」をしながら、「学びの保障」を続けていくことは重要です。学校教育ならではの学びである「協働的な学び合い」のためには、</p>

<p>受験を控えて心配と聞いている。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収束が見えないコロナ禍でわざわざ人数を増やすことは、コロナ対策に相反すると思う。どう考えているのか？ ・コロナ禍になって1年半以上がたち、教育現場はとも変化している。古い教育論で進めるいきいきプランは全く古い過去のもの。教育委員会の方針は古すぎる。 	<p>望ましい学校規模が必要です。感染症対策に取り組みながら、子どもたちのよりよい教育環境に向け、取り組んでまいります。</p>
---	--

2 統合以外の手法について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
9	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天白小、山根小の子を高坂小に通学させてほしい。そうでなければ、天白学区や山根学区の人は高坂小の避難所に来ないでほしい。高坂小に通学する地域の人が、小学校を選挙や避難所に利用するようにしてほしい。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ないのであれば、通学区域を広げてほしい。 ・土原の人に通学先を選択してもらうことを検討すれば、解決するのではないか。土原地域の方は、投票所と避難所は高坂小学校なので、高坂小学校に来てほしい。 ・統廃合をする前に、学区のあり方、近い学校へ通うこ 	<p>別紙にまとめましたので、ご確認ください。</p>

とを選択できるような方法を考える方がいいと思う。それによって、少人数の問題も解決できるのではないか。

- ・児童数を増やしたいのであれば、統合ではなく、他校からの受け入れも考えるべきである。

- ・厳しい質問への回答、定められた内容の範囲内での説明、苦しい立場であると思う。ただ、統廃合ではなく、学区の境界を見直すことはできないのだろうか。その方が、費用面でもメリットはあるように思う。

- ・名東区の通学先の選択について説明するのであれば、地理的情報、小規模校を選んだ人数、選択対象と各学年などの資料を用意してほしい。

- ・高坂小学校の方が立地がよいと皆さんおっしゃっているのに、小規模校であることばかり強調されていて、小規模のデメリットを解決する策が統合しかないのは、安易に感じられる。

3 統合場所について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
10	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学距離を理由に統合場所を高坂小の場所としないのであれば、(しまだ小の)通学区域を変更すればいい。その検討はされたのか。できれば、その検討をしてほしい。 ・通学区域の柔軟な対応をすることができるのなら、しまだ学区の高島の地域の児童が他の学校に通うようにし、高坂小の場所で統合すればいい。 ・高坂小の場所は立地条件が良く、小学校の外からも見渡せる。何があっても安全・危険が一目瞭然である。 ・高坂小の場所は水はけがよく、雨が降っても午後からは体育ができると聞いている。 ・高坂小の場所でのボーリング調査の結果が悪ければ、あきらめがつく。高坂小の場所と比べてしまだ小の場所が良くない。 ・しまだ小はハザードマップで赤くなっているが、高坂小は問題ない。敷地も、しまだ小は三角形でくぼ地であるが、高坂小は四角形で平らである。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ高坂小ではいけないのかははっきりしてほしい。 	<p>高坂小学校としまだ小学校のどちらを統合場所とするかについては、両校とも子どもが安全に学校生活を送ることができる場所であることを踏まえた上で、しまだ小学校の場所で校舎等の建て替えを含め統合校を整備する案を教育委員会で検討し、審議会に諮問しました。</p> <p>審議会では、統合場所を決める要素として、①通学距離、②敷地面積、③文部科学省の手引による考え方、④子どもの状況(児童の居住分布)、⑤学校敷地の状況など、多角的な視点から審議されました。また、審議会委員が直接現地を確認する機会を設けました。</p> <p>統合場所についての審議の過程では、教育委員会が諮問した個別プランに対し、委員から、「子どもの数等を考え、通学距離も考えられており合理的」、「学校用地としては高坂小学校の場所の方がいい」、「統合場所はまず児童数の多少があり、次に敷地面積があり、その後に敷地の条件があると理解していた」などのご意見がありました。</p> <p>教育委員会では、丁寧に審議され出された審議会の答申を尊重し、子どもたちのための安心・安全な新しい校舎等を建設し、子どもたちがいきいきと学校生活を送ることができる魅力ある統合校づくりに取り組んでまいります。</p> <p>審議の過程は以下のウェブサイトから、令和2年度第2回から令和3年度第4回の開催状況をご確認ください。</p> <div data-bbox="1021 1134 2101 1305" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の概要</p> <p>https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000124383.html</p>  </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・高坂小でクラス替えができる児童数を確保でき存続できるのが一番だと思うが、現状厳しい。ただ、統合するにあたって、まず土地の安全性や小学校地としての適性からどの小学校に統合するか考えることはできないのか。その上で高島の人達に通学校を選択してもらうことはできないのか。 ・なぜ、高坂小が色々な面でいいのに、しまだ小に行くのか。この逆にはならないのか。 ・その土地・地域により統合を決めるべきである。 	<p>(参考)</p> <p>ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」における統合場所についての考え方 ※下記のウェブサイトに掲載されている資料の「別紙2」をご覧ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>令和3年度第1回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会 https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000139290.html</p>  </div>
11	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、危険なしまだ小の場所で統合するのか。 ・立地条件が悪いしまだ小の場所に、80年使うとする校舎を整備するのは理解できない。 ・小学校にあるサイエンスの雑誌には、自然災害が3倍になると書いてある。現在の状況で危険な学校を選ぶのか。名古屋市のホームページには80年間建物を使うと書いてある。しまだ小の場所は80年間使うには危ない。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険で環境が悪い場所にわざわざ50年使用する校舎を建てるのか。先を見通したプランとは思えない。 	<p>しまだ小学校では、現在約400人の児童が安全な教育環境のもとで学校生活を送っています。</p> <p>統合校においても、子どもたちが安心・安全な学校生活を送ることができるよう整備を進め、子どもたちの安全の確保に取り組んでまいります。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な地に子どもを通わせることはできない。 ・今までしまだ小が大丈夫だったのは、自然災害がなかったからではないか。 ・しまだ小の危険箇所はクリアしていると書いてあるが、そもそも危険箇所のない高坂小の地の方が安心して子どもを通わせることができる。万が一何かあったときは責任を取ってもらえるのか。 ・しまだ小は住宅地で見通しが悪いところに立っているのは、どのように解決するのか。高坂小の地は、周りから校舎、運動場も見え、死角がないため安心。通学路も視界が開けているので安心である。 ・新校舎建設には、十分に安全を確認していただきたい。 	
12	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査も1か所しかしておらず不十分である。 ・50坪程度でも5か所のボーリング調査をする。しまだ小の場所で1か所の調査で大丈夫と言っているが、他の場所の調査をして、危ない場合には、やみくもに予算を突っ込むことになる。 	<p>令和3年に実施した、しまだ小学校の敷地内でのボーリング調査は、現時点で調査可能な一地点において実施したものです。今回の調査結果のみをもって新校舎の整備をするという訳ではなく、新校舎の配置計画と並行し、適切な位置・箇所を選定して更なる地盤調査を行い、新校舎の基礎構造設計に反映することとしています。(学校の校舎建設をする際には、ハザードマップの表示の如何にかかわらずボーリング調査を実施します。)</p> <p>地盤の液状化対策については、名古屋大学減災連携研究センターに「技術的観点から、地盤状況を踏まえた適切な液状化対策が行われれば、整備する校舎本体に安全面での大きな影響はない」とのご意見をいただき、審議会で報告し</p>

		<p>ています。</p> <p>(参考) しまだ小学校敷地における液状化の可能性について ※下記のウェブサイトに掲載されている資料の「資料1」をご覧ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>令和3年度第4回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会 https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000142675.html</p>  </div>
13	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまだ小の敷地には土砂災害警戒区域等があり、液状化発生の可能性があるとされているエリアもあるが、それらが外れることはあるか。外れなければ、そのような場所に新校舎を建てるということによいか。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨時、ハザードマップで、しまだ小学校は危険地域のため、真っ赤になる。そのような所には通学できない。 	<p>統合校の新校舎等の整備は、敷地内に土砂災害警戒区域等があることや液状化発生の可能性などを踏まえて対策を講じ、実施することについて、審議会でご審議いただきました。統合校の新校舎は、土砂災害警戒区域等の区域外に新築する計画です。</p> <p>地盤の液状化対策については、No.13をご確認ください。</p>
14	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄塔が倒れてくるような場合、誰が責任を取るのか。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(アンケートなど)</p>	<p>しまだ小学校の敷地に隣接する鉄塔は、中部電力パワーグリッド株式会社が管理しています。</p> <p>審議会では、中部電力パワーグリッド株式会社から鉄塔の設計や安全管理(保守点検)について説明を受け、そのことを踏まえ答申が出されました。中部電力パワーグリッド株式会社からは、「令和元年 台風15号の鉄塔損壊事</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄塔もあるし、心配で通えません。 ・鉄塔が小学校側に倒れてくる可能性は0%でしょうか。 	<p>故」を受けて国にワーキンググループが設置され安全基準が変更されていること、また当該鉄塔はその基準をクリアしていることについて説明されました。</p> <p>審議の過程は以下のウェブサイトから、令和2年度第2回から令和3年度第4回の開催状況をご確認ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="1021 363 1912 533"> <p>名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の概要</p> <p>https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000124383.html</p> </div> <div data-bbox="1912 363 2101 533">  </div> </div>
15	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>ハザードマップと教育委員会の調査結果が矛盾しているので、防災危機管理局も困っていると聞いている。</p>	<p>教育委員会で実施したポーリング調査は、校舎建設を想定し、地盤状況の把握を目的として実施したものです。一方、ハザードマップは、既存の地盤ポーリングデータ、地盤図や都市計画図等に基づき地盤モデルを推定して液状化を判定し、一定の区画ごとにその結果を示しているものであり、これらは比較するものではありません。</p>

4 通学について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
16	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅が久方三目なので、しまだ小まで遠い。子どもの意見を聞いてほしい。 ・近い小学校に通学できるようにしてほしい。 ・タブレットを持ち帰っているが、大変重いので、近くの学校に通わせたい。 	<p>審議会から「起伏のある地域であることを踏まえた通学の負担面・安全面などを考慮し、統合時に通学距離が非常に長くなる児童については、通学条件などを勘案し、通学区域の柔軟な対応を検討すること」との答申を受けました。</p> <p>「通学区域の柔軟な対応」とは、通学区域の特例制度を想定しています。これは、通学区域の一部の地域で、指定された学校又は保護者の選択による学校に通学するというものです。地域活動の単位としての「学区」は変わらず、子どもの通学先だけが変わるものです。(通学区域の特例制度については、別紙をご覧ください。)</p>

<p>・違う小学校に通うことになると、違う中学校に通うことになると思う。緑区の小学校が近いが、高坂学区の中学校へ通えるのか。</p> <p>・統合時に転校することになるのは、子どもの負担が大きい。入学前に学校が決められるよう配慮してほしい。</p> <p>・今は1年生だが、通学区域の柔軟な対応で別の学校に行くことになると、6年生になるときに知らない学校に通うことになる。修学旅行もあるので、その点もしっかり考えてほしい。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <p>・久方三丁目は相生小の方が近いので、統合することになれば、相生小に通いたい。地図を見ても、相生小となるほうが自然だと思う。</p> <p>・通学距離の諸条件について、小さな子が通学するため、安全が心配。具体的な方法を教えてほしい。</p> <p>・柔軟な対応とは、しまだ小と相生小で、通う学校を選択できるということか。</p> <p>・通学について、「距離が長くなる児童については～」と書かれているが、具体的なことが書かれておらず判断が難しい。夏の暑い中、子どもが1.7 km～2.1 kmを歩くの</p>	<p>特例制度の実施に当たっては、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校を指定にするか、保護者の選択にするか（どこの学校にするか） ②対象となる地域の設定 ③開始する年度・終了する年度の設定 ④受け入れ側となる学校の施設等の状況 ⑤通学路の設定 ⑥中学校ブロックが異なる場合の中学校の進学先 ⑦すでに兄弟が通学している場合の対応 等 <p>について検討が必要になります。特例制度は、行政区をまたぐ形で実施されている例もありますし、現に通学している小学校の進学先となる中学校を選ぶことも実際に行われています。</p> <p>以上の事柄を踏まえながら、統合の決定後、令和4年度から始める予定の「STEP5 新しい学校づくり」の中で、保護者・学校・地域とともに実施の具体策を協議してまいります。</p>
--	---

は大変である。そもそも、通学距離が2 kmとあるが、小学校1年生と6年生とでは体力が違うのでおかしいのではないかと思う。

・通学区域について、「保護者・地域のご意見を踏まえて検討します。」ということでしたが、住んでいる所から近い所、望む所、安全な所へ行けるようにしてほしい。また、しまだ小に全ての児童が通学するという事ではなく、数校に分かれることになるかと理解してよいか。それは選択するという事か、決まっている学校に行くということのどちらか。

・子が入学前に6年間同じ学校（相生小又はしまだ小）に通うことができるように、学校の選択をできるよう調査時期の配慮をしてほしい。

・久方二丁目からしまだ小に通うのは遠く、通学において、暑さ、交通安全、防犯面で不安がある。相生小へ通学できる手法を積極的に検討し、実現してほしい。

・相生小学校に通学することはできるか。久方に住んでおり、しまだ小学校へは遠い。いつ、相生小へ通学できるかを、未就学児保護者に聞いてくれるのか。

・久方三丁目に住んでいるが、しまだ小学校はあまりにも遠い。たくさんの人との交流が大切なのはわかるので統合は理解できる。しかし、遠距離の通学は賛成できな

	い。高坂小学校が残るのが一番だが、しまだ小学校との統合が決まった場合、久方については相生小学校に通えるようにしてほしい。	
17	(アンケートなど) 登校距離 2 kmを通っている子どもは名古屋市でどのくらいいるのか、具体的に数字で示してほしい。クラス変えのない学校には通わせたくないのでもよろしく願います。	令和3年度時点で、名古屋市内で、2.0km以上の通学距離を通勤している児童がいる小学校は14校あります。最も長い通学距離は3.0kmです。
18	(会場のご意見・ご質問) これまでの統合校で、通学区域の柔軟な対応はしているか。	これまでの統合校で実施した事例はありません。
19	(会場のご意見・ご質問) 通学区域の柔軟な対応は、いじめの温床になる。	通学区域の柔軟な対応の実施にあたっては、いただいたご意見も参考に進めてまいります。
20	(会場のご意見・ご質問) 大根の交差点は危険である。	大根交差点については、歩行者の安全確保のため、令和2年3月から歩行者先行信号となっています。この交差点を含む通学路の安全確保については、関係行政機関と連携を図りながら、取り組んでまいります。通学路の設定に当たっては、保護者や地域の方々のご意見を伺い、検討してまいります。次の項目もご参照ください。
21	(会場のご意見・ご質問) ・通学距離が延びると危険が増えるので、安全対策や精神的なケアに対する問題点をしっかり出して回答してほしい。安全に関して、これから検討するというのではだ	通学路に関し、天白警察署や天白土木事務所には、統合の取り組みについての情報提供と、通学路が新たに設定された場合の施設整備などについて、相談しています。 統合により、まず、しまだ学区から高坂小学校の場所への通学が始まり、統

<p>め。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島地区に住んでいる方が一番多いということだが、302号線を通っているのが気になる。大きな道路が通学路になっているのはどうなのかと思う。安全な通学路を考えているようには思えない。それなのに安全な通学路を確保すると言われても、信じられないと感じた。通学中の交通事故が一番心配である。 ・長距離、熱中症、子どもへの犯罪のリスクに大切な子どもをさらしたくない。 ・交通安全は、両校できちんとみてもらえるのか。 ・高坂小学校の存続を希望する。科学雑誌「サイエンス」によると、「1960年生まれと現在6才の子では、自然災害が3倍増える」とある。災害が増えるのに、遠方のしまだ小学校に通学すると危険が増える。 ・地球温暖化しているので、通学中に熱中症になることも増えるのではないか。 	<p>合校の整備が終わると、高坂学区からしまだ小学校の場所への通学が始まります。両校の保護者や地域の方々とともに、具体的な通学路の設定とその安全対策について検討します。また、子どもたちの通学練習会を実施する等、交通安全指導にも取り組んでまいります。</p> <p>不審者等に対する登下校時の防犯対策として、「子ども安全ボランティア」など地域の方による見守り活動や、子どもが身の危険を感じた時に駆け込める「子ども110番の家」などがあります。新しい通学路における安全対策については、こうした取り組みも踏まえながら、学校・保護者・地域とともに検討してまいります。</p> <p>通学時の熱中症対策については、現在もそれぞれの学校で取り組みが行われていますが、通学路の設定等を検討する際に、改めて学校・保護者・地域と協議してまいります。</p>
--	---

22	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>しまだ小の高島の地域には、200 人の児童がいるとの説明だが、2km ある高坂小の場所へ通うことになるのか。通学距離があり、気温 38 度で 40 分以上となることの想定をしているか。</p>	<p>統合校の整備期間中のしまだ学区の児童の通学については、保護者や地域の方のご意見なども踏まえながら、検討し、対応してまいります。</p>
----	---	--

5 跡地の活用について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
23	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高坂学区は高齢化しているので、避難所は近いほうがいい。 ・災害で生き延びても、避難所がなければ死ぬこともある。 ・審議会でも「教育委員会は跡地活用に関係ない」と発言があった。誰が責任を取るのか。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高坂町民にとって、高坂小学校は地域のシンボルである。小学校、統合について、協議は今後も続くと思うが、仮にしまだ小学校への移転（統合）になった場合、シンボルを失くしてしまうことは、非常に残念。この問題は既に、3年近く経過している。他部局との調整を進めて、跡地について、もっと具体的な整備構想を示し、地元説明をしてほしい。何年もの時間経過を無為に過ぎず構 	<p>学校統合に伴い、小学校が担っている避難所機能をどうするかは、大きな課題であると認識しています。</p> <p>本市ではこれまで3つの統合校を開校しましたが、跡地となった6か所の旧小学校は、統合後もすべて指定避難所となっています。跡地の活用方法は、統合の決定後、地域に必要な避難所機能など地域の関係者等のご意見もお聞きし、関係部局とも連携を図りながら全市的な視点で検討してまいります。</p> <div data-bbox="1021 842 2096 1015" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校跡地の活用状況</p> <p>https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000119794.html</p>  </div> <p>なお、審議会で、「教育委員会は跡地活用に関係ない」という発言はありません。(会議録をご覧ください。)</p> <div data-bbox="1021 1187 2096 1359" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の概要</p> <p>https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000124383.html</p>  </div>

	<p>想を説明してほしい。私は統合後の跡地構想が知りたかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高坂小学校がなくなると、遠くの学校まで避難することは難しいのではないか。 ・跡地は学区の役に立つものにしてほしい。 	
--	---	--

6 取り組みの進め方について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
24	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者が言ったことは、みんな正しいのか。教育委員会は何も考えていない。利便とかデメリットだけで決定している。学校経営学が専門の有識者に、統合していいかを聞くのはおかしい。 ・クラス替えができるといいと言っていた審議会の委員は、専門が幼児教育で、自分の経験で話をしている。 	<p>統合の取り組みを保護者・地域、学校現場の理解を得て進めていくためには、中立性や客観性が求められるとともに、専門的立場からの見識や判断等が必要です。このため、審議会は、学識経験者や学校関係者、地域関係者、市PTA（保護者）計10名の委員により、統合の具体的な取り組み内容について調査・審議し、教育委員会に答申します。</p> <p>審議会については、以下のウェブサイトからご確認ください。</p> <div data-bbox="1021 991 2101 1161" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の概要 https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000124383.html</p>  </div>
25	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>協議をしてくださいという答申なら、協議が実るまですべき。いつまでたっても不安や疑問が消えないなら、もう一回審議会をすればいい。教職員や地域の人、保護</p>	<p>審議会の答申は、「教職員、保護者、地域と一体となって子どもたちを見守り、その成長を支えることができるよう、新しい学校づくりのための協議に取り組むこと」に留意して取り組みを進めるとなっています。</p> <p>この「新しい学校づくりのための協議」は、統合の決定後に、校名・校章・</p>

	<p>者を入れて審議会をしましょう。</p>	<p>校歌や施設整備、通学安全等について、両校の保護者・地域・学校と行うものです。審議会の答申を踏まえ、統合校がよりよい学校となるよう協議を進めてまいります。</p>
26	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が、上から一方的に統合しようとしていると思っている。 ・STEP1 の途中と思って 2 年前に話を聞いたが、どうして STEP2 に進んだのか。なぜ STEP3 になっているのか。 ・6 か月で統合を決定するのはおかしい。 ・保護者、地域と丁寧に協議を重ねるのがステップ3、丁寧にされていないというのが、10 年前からの印象である。 <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方的な説明のみでどんどんステップが進んでいることに不安を感じる。 ・現状の教育委員会の対応の仕方では、反発しか生まないと思う。話を聞いている限り、今回の統合案は賛成できるようなものではないと思う。 ・市教委は誰の納得、理解で次のステップに進もうとしているのか。STEP1 から STEP2 に移ったのは誰の承認で進んだのか。 	<p>No.25 のとおり、中立性や客観性を踏まえた取り組みとするため、統合の手続は、学識経験者や学校関係者、地域関係者、市 PTA（保護者）で構成する審議会での審議を経て進めることとなっています。</p> <p>「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」では、STEP1 で教育委員会が個別プランを作成し、STEP2 で審議会への諮問・答申を行うとしています。</p> <p>高坂小学校としまだ小学校の統合については、令和 2 年 12 月に教育委員会が審議会に個別プランを諮問し、令和 3 年 7 月に審議会から答申を受けました。現在は「STEP3 保護者・地域への説明・協議」の段階です。同計画では、「子どもたちにとって良好な教育環境を早期に確保できるよう、あらかじめ設定した目標期間を目処に保護者、地域との協議を行います」となっています。個別プランでは、この期間が 6 か月となっています。次の項目もご参照ください。</p>

	<p>・しっかりと審議、協議、調査されて決定されればと思う。ただ、決定されたことのスケジュールに遅れ、延期がないことを願う。</p>	
27	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>・次の説明会をしてほしい。今日で終わりにしないでほしい。</p> <p>・教育長の市議会での答弁は嘘をついたということか。</p> <p>・文部科学省の考える統合は、地域住民と保護者の理解が必要とされているが、理解が得られていなくても統合するというのか。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <p>・今回の説明会で、「住民に説明を尽くした」とは言えないはず。質問に答えられる人を教育委員会として出席させるべきである。</p> <p>・統合は確定でいいのか。</p> <p>・質問に対する回答を1つ1つ丁寧にしてほしい。</p> <p>・私たちの意見をどう捉えるのか。聞くだけなのか。</p> <p>・住民の理解と納得はどんな形で取るのか。</p>	<p>教育委員会では、審議会から答申を受け、その内容についての資料を保護者（小学生、未就学）の方には配付（郵送）し、地域の方々には回覧をさせていただきました。ご意見、ご質問については、郵送やEメールのほか、高坂コミュニティセンターに回収箱を設置し、お受けしました。説明会ではアンケートを含め、ご意見、ご質問をいただきました。</p> <p>頂戴したご意見、ご質問については、本資料の中で教育委員会の考え方を詳しく説明しております。再度の説明会の予定はございませんが、頂戴したさまざまなご意見を参考としながら、今年度統合決定を行い、来年度から新しい学校づくりの協議を始めてまいります。</p> <p>また、令和3年6月市議会で教育長が答弁しましたように、関係する皆様の理解を得て統合の取り組みが進められるよう努めてまいりたいと考えています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・しまだの方にもオンラインを利用して、一緒に説明会を改めて実施してほしい。 ・地域住民の説明会では、批判や理解できないという意見しか出なかったが、それでも今年度中に統合決定をするのか。 ・説明会は事前に渡された資料を読むだけで、全く住民の不安や疑問に答えていないと思う。これが協議か。次の説明会も開こうとしない姿勢は、とても協議とはいえないと思う。 	
28	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>きちんと子どもの話を聞いてから進めてほしい。</p>	<p>統合に向けた子どもの意見については、統合の決定後、統合校の開校に向けた協議をする段階（STEP5）で、新しく開校する学校についてのアイデアなどを子どもたちから募集してまいりたいと考えています。</p>

7 其他のご意見・ご質問

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
29	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>10年前は相生小との統合ということだったが、なぜ、しまだ小との統合になったのか。</p>	<p>平成22年9月に策定した旧計画（「小規模校対策に関する実施計画」）では、統合の相手校の選定は「同一中学校ブロック内で隣接する小規模校対策の対象校」とされていたため、相生小学校との統合が想定されていました。旧計画では、保護者・地域等の代表者で構成する検討組織を学校ごとに設置し、関係する学校・学区の合同検討組織の中で合意形成を図り、進めていくこととしていました。しかしながら、高坂小学校と相生小学校の統合については、旧計画の計画期間内には具体の取り組みは進捗せず、統合には至りませんでした。</p>

		平成 31 年度からの「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」では、審議会への諮問・答申を踏まえ、教育委員会が主体的に望ましい学校規模の確保に取り組むこととしています。統合の組み合わせは、隣接する学校の統合を基本とし、原則として同じ行政区内、同じ中学校ブロック内の統合を検討するとしています。この考え方のもとで未就学児のつながり、敷地面積、通学距離の目安、相生小学校の児童数の推計などを慎重に検討し、しまだ小学校を相手校として選定したものです。
30	(会場のご意見・ご質問) 市営住宅を 2 棟くらい建て替えて、港区や中川区から若い人を呼ばばいい。	ご意見として承ります。
31	(会場のご意見・ご質問) ・学童は近くのところに通えるのか。担当している局は違うかもしれないが、便宜を図ってほしい。 ----- (アンケートなど) ・働いているので、トワイライトや学童の利用をしたい。それについてもどうなるか決めていただきたい。	留守家庭児童育成会（いわゆる「学童保育所」、以下「育成会」といいます。）の所管局である子ども青少年局にお伝えしたところ、以下のとおり回答がありました。 育成会への利用申し込みの受付や利用者の決定については、それぞれの育成会で行っております。 育成会の利用に関するお問い合わせにつきましては、直接、該当の育成会にご相談いただきますようお願いいたします。 なお、トワイライトスクールについては、統合校で引き続き利用していただける見込みとのことです。
32	(会場のご意見・ご質問) ・保護者アンケートを 2 回したが、保護者は全員高坂小へ通いたいとなっている。	統合に当たっては、地域・保護者の方々の学校に対する深い思いや、通学へのご心配などから、現在通っている学校の場所での統合を希望するご意見をいただいております。このため、いきいき計画では、中立性や客観性を踏まえた

	<p>・PTA アンケートは全員高坂小へと言っている。</p> <p>-----</p> <p>(アンケートなど)</p> <p>・教育委員会の使命は、地域住民の意向の反映である。地域住民の意向は「高坂小学校を残してほしい」である。</p>	<p>手続となるよう、統合場所を含む「個別プラン」について、学識経験者らによる審議会での審議を経て、進めることとしています。</p>
33	<p>(アンケートなど)</p> <p>交流活動について、具体的に知りたい。(子どもがなじめるか心配。コロナ禍でできるのか)</p>	<p>統合校の開校に向けた交流活動については、各学年同士の交流や行事の合同実施など、できるだけたくさんの機会を捉えて実施できるよう両校と調整し、実施してまいります。次の項目もご参照ください。</p>
34	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>・子どもは、しまだ小に通学すると登校拒否になると言っている。</p> <p>・夜中に子どもが不安で泣き出している、統合に不安を持っている。</p>	<p>教育委員会は、統合により一方の学校を残し、他方の学校を廃止するのではなく、新しい学校を開設するという考え方で、統合後の学校づくりに取り組んでまいります。</p> <p>統合にあたっては、新たな人間関係をスムーズに構築できるよう児童相互の交流活動を実施します。また、スクールカウンセラーなども活用し、児童の心に寄り添いながら取り組みを進めます。児童や保護者を理解した教育が継続できるよう、統合前の学校の教員をバランスよく配置できるようにします。</p> <p>なお、3つの小学校が統合した西区のなごや小学校の子どもへのアンケートでは、「新しい友達ができうれしい」、「授業が楽しくなった」、「休み時間に遊ぶ友達や遊びの種類が増えた」、「行事（遠足や運動会など）で人数が増えて楽しくなった」、「たくさんの先生と話ができるのでよかった」といった声を多くいただいています。（「クラスや人数が増えてよかった」との回答者は、全体の75.6%となっています。）</p>
35	<p>(会場のご意見・ご質問)</p> <p>・統合には誰も納得していない。地域住民は納得してい</p>	<p>保護者、地域の方からは、さまざまなご意見をいただいています。小学校では、子どもたちが集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力</p>

<p>ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を減らさないといけないのも理解する。決定権が教育委員会にあるのも理解する。 ・日本の宝は子ども、国宝。子どもを条件が悪く、遠いところへ行かせようとしている。 <hr/> <p>(アンケートなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学の子どもがいる親だが、私は賛成であり、子どもが就学する前に統合して、新校舎・改修された安全な学校に通わせたいと考えている。説明会では、反対意見が目立ったが、どちらでもいい、賛成の人の声が上げにくい雰囲気があった。 ・答申を踏まえ、適切なプランを策定されたと思う。様々な意見が出る中、丁寧な説明を今後も行いながら、計画を進めてもらいたい。 ・住民の賛成か反対かの統計を取らないのか。PTA で統計を取っていたが、住民の声が数値化されて説得力があった。学区の住民の賛成・反対・興味がないが何%いるのか知りたい。 ・子どもが高坂小学校を卒業しているが、子どもも自分も統合には大賛成。子どもは在学中に統合してほしかったと羨ましがっている。相生小学校の人からも、統合し 	<p>し合い、切磋琢磨することが大切で、その教育効果を高めるためには、望ましい学校規模を確保することが必要です。統合により、子どもたちにとってよりよい教育環境を確保する取り組みについてご理解いただけるよう努めてまいります。</p> <p>なお、今後保護者、地域の方を対象に、賛否に関するアンケートを実施する予定はありません。</p>
---	--

	<p>たかったという意見を多く聞くし、統合には前向きに、と思っている。</p> <p>・以前説明会にも出席したが、統合反対の人のマイクパフォーマンスを聞いているのがとてもつらく、賛成でも発言しにくい状況だった。他に出席されていた保護者の中にも同様の意見の人がいた。説明会では反対する人しか意見していないが、統合に賛成している人も多数いることを知ってほしい。</p>	
36	<p>(アンケートなど)</p> <p>しまだ学区の保護者の方の意見も聞いてみたい。</p>	<p>しまだ小学校の保護者（未就学児の保護者含む）への説明会は、令和3年10月22日（金）、23日（土）に開催しました。</p> <p>説明会では、統合校の校舎等の整備のため高坂小学校の場所まで通学することに関し、通学区域の柔軟な対応やスクールバスについて等、多方面からご意見、ご要望をいただきました。</p> <p>説明会のおたよりは、後日、学区ごとに名古屋市公式ウェブサイトに掲載する予定です。</p>
37	<p>(アンケートなど)</p> <p>・資料に高坂小としまだ小の人数が示してあるが、いつの統計か。現在高坂学区は高齢化しており、一軒家がなくなって、二軒の家になっているところもある。学校が近いから引っ越してくる。統合されたら、不動産屋の詐欺にあったようなものだ。</p> <p>・長期的な目線での考えがないように感じた。しまだ学区は児童が減る傾向で、高坂は増えている。地下鉄の駅</p>	<p>令和3年10月に開催した説明会の資料には、令和3年度に作成した見込みを掲載しています。</p> <p>学級数及び児童数の見込みは、各学区の人口の変化率（過去3年の人口動態）を加味して翌年度以降の児童数を計算するとともに、マンションなどが建設される場合はその建設により発生する児童数を加えて、児童数を押し量っています。</p> <p>統合校は500人前後の規模となりますので、統合により望ましい学校規模となる見込みです。</p>

	<p>が近いからだと思う。長い目で見ると統合してもしまだ小がまた小規模化する可能性もあるのではないか。</p>	
38	<p>(アンケートなど)</p> <p>高坂小学校がなくなると、若い人たちの移住が見込めず、ますます高齢化も進んでしまいそうで怖い。</p>	<p>統合校は、高坂学区としまだ学区両方の小学校として開校するものです。統合校が魅力ある学校となり、地域の活性化につながるよう、高坂、しまだ両方の保護者・学校・地域と協議してまいりたいと考えています。</p>